

# 【奨 励 賞】【審査員特別賞】



氏 名 李 薇佳  
(リ ビカ)

国・地域 中国 

在日期間 4ヶ月

学 校 鹿児島大学

## タイトル : 情報社会とインターネット

皆さん、こんにちは。鹿児島大学の留学生、李薇佳です。今日、私のスピーチのテーマは「情報社会とインターネット」です。どうぞよろしくお願いいたします。では発表させていただきます。

みなさんも「情報社会」という言葉を、一度は聞いたことがあるのではないのでしょうか。「情報社会」というのは、文字通り、情報で構築された社会です。例えば、知識、個人情報、毎日のニュースなどです。たとえどんな情報でも、私たちは昔より簡単に手に入れることができます。なぜなら、通信技術はますます発達になって、情報を得るための手段はますます多くなっているからです。中でも、インターネットは主な手段だと思えます。確かに、近年、インターネットを使うことによって、私たちの生活は昔と比べて、より便利にそして、よりスマートになりました。しかし、インターネットはその便利さとは裏腹に、多くの危険が潜んでいることも理解しておかなければなりません。

では、インターネットはどんな欠点、あるいはどんな弊害があるのでしょうか。

まず、今はいつもより情報が簡単に手に入れるからこそ、私たちはだんだん思考力が失っていると思います。毎回、知らないこと、あるいは、問題にぶつかっている時、私たちは、すぐスマホを出して、「○○とは」、「○○のやり方はなんですか」と入力して、正解を見て、「へー、なるほどー、そうなんだ、わかった」と満足しています。でも、本当にわかっているのでしょうか。このような光景を見ると、私は問題が問題としての意味を失ってしまっているように感じます。確かに、昔より早く問題の答えを知りましたが、それは意味がないと思いませんか。なぜかという、自分で考え出すことではないからです。「我思う、ゆえに我あり」デカルトもこういったことがあります。つまり、思考力が非常に重要です。現代の私たちはスマホを使って、インターネットで大量の情報を手に入れます。どんなことでも簡単に知ることができますけれども、深く考えたことはほとんどありません。

今は情報社会です。多くの知識や情報を手に入れようとするのは、社会の発展の傾向を示しています。私がここでみなさんに伝えたいことは、インターネットの利用をやめ

ましようということではなく、調べる前に十分にその問題を考えるべきだということです。人間の思考力を落とさないことが、情報社会を生きていくためには必要不可欠だと私は考えています。

そして、もう一つの弊害を言いたいのは、サイバー暴力ということ です。今やこれは、社会問題としても扱われています。インターネットを利用して、特定の人物の個人情報を調べて、批判を加えたり、本人を見つけて、攻撃さえします。

これについて、みんなに二つのことに注意してほしいです。まず、自分の個人情報をしっかりと保護して、気軽にネットで示さないようにすること。そして、ネットで過激な言論をせず、他人に人身攻撃をしないようにすることです。この二つのことを一人一人が心がけることで、情報社会が平穏的に発展できると思います。

概して、私は決して情報社会とインターネットは良くないことと言っているわけではありません。逆にインターネットを使うことのメリットはたくさんあります。情報社会にいる私たちは、インターネットを通して、いろんな知識を手に入れて、世界各地の友達を作ることができます。これは本当に素晴らしいことだと思います。ただ、私たちは決して思考力を失ってはいけません。そして、ちゃんと秩序を守ってインターネットを利用して、情報社会の発展を促進すべきだと、私は言いたいです。

私のスピーチは以上です。ご清聴ありがとうございました。